

山口県エンタテインメント枠組構想案

2016年06月01日施行

山口県エンタテインメント枠組構想案の適用について

1.山口県周南地域を含む山口県東部「周南市・下松市・光市・柳井市・岩国市および熊毛郡・玖珂郡・周防大島郡」について

(1)山口県周南地域を含む山口県東部「周南市・下松市・光市・柳井市・岩国市および熊毛郡・玖珂郡・周防大島郡」は、山口県エンタテインメント枠組構想に基づき、実写ドラマ情報・実写ドラマ映画情報の業務および実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影はできません。また、本社所在地が該当している放送局は、実写ドラマ番組の放送および再放送はできません。ローカル番組の実写ドラマ映画番組は年末年始および年 5 回を上限に放送できます。ただし、「OYAKO」「百円の恋」および下松映画「恋」「10ミニッツ」は放送できません。アニメ映画・特撮映画は無制限です。

本社所在地が該当している放送局によるアニメ番組は、指定されたアニメおよびこれから指定されるアニメに限り放送および再放送ができます。アニメ番組に関して、系列局は問わないものとします。アニメ番組の数による上限は「無制限」です。本社所在地が該当している放送局によるアニメ制作も含まれます。特撮番組は状況次第により放送は可能です。MOVIX 周南さんでの映画試写会は、これまで通り開催できます。

(2)山口県周南地域を含む山口県東部「周南市・下松市・光市・柳井市・岩国市および熊毛郡・玖珂郡・周防大島郡」は、テレビ局の本社所在地およびメディア関係を含め、実写ドラマ情報・実写ドラマ映画情報の業務および実写ドラマ・実写ドラマ映画撮影はできません。各地フィルムコミッション主催による映画祭イベントも実施できません。「アニメ撮影・特撮撮影・バラエティ撮影・ドキュメンタリー撮影・写真撮影・プロモーションビデオ撮影・CM 撮影」および「アニメ映画・特撮映画による映画祭イベント」はその限りではありません。

ただし、実写による特撮撮影・バラエティ撮影・ドキュメンタリー撮影・写真撮影・プロモーションビデオ撮影・CM 撮影を通じて、18 歳未満の出演者の場合、親権者の承諾が必要の上、書類等を必ず提出する必要があります。制作側から不可能と判断された場合、出演できない場合があります。実写撮影はブラウン管に出演しますので、撮影終了後は、各自での行動に気を付ける義務を負う必要があります。もし、実写ドラマ制作・実写映画制作で使用計画があった場合、実写ドラマ制作監督・実写映画制作監督に「使用不可」と伝える必要があります。山口県周南地域を含む山口県東部「周南市・下松市・光市・柳井市・岩国市および熊毛郡・玖珂郡・周防大島郡」および山口県のみならず、各地のイベントで写真撮影・ビデオ撮影を通じて、主催者側の承諾なしに実写ドラマ制作・実写映画制作で使用してはいけません。

(3)18 歳以上の出演者で「生活保護受給対象者」は、実写による特撮撮影・バラエティ撮影・プロモーションビデオ撮影による出演はできません。また、スタッフおよびボラン

ティアスタッフで「生活保護受給対象者」は、自動車使用が禁止されているため、それ以外の実写による特撮撮影・バラエティ撮影・プロモーションビデオ撮影・CM撮影によるロケ活動はできません。その場合、自動車使用が認められているスタッフおよびボランティアスタッフに依頼して交代して下さい。

(4)山口県周南市で開催しています「松田優作賞」の映画につきまして、第2回までが原則ですが、第3回まで猶予とします。第4回以降は山口県周南市での開催はできません。この場合、本拠地を山口県中部および西部に移転して下さい。

2.山口県中部および西部「防府市・山口市・宇部市・山陽小野田市・下関市・美祢市・長門市・萩市および阿武郡」について

(1)山口県中部および西部「防府市・山口市・宇部市・山陽小野田市・下関市・美祢市・長門市・萩市および阿武郡」は、山口県エンタテイメント枠組構想に基づき、実写ドラマ情報・実写ドラマ映画情報の業務および実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影はできます。また、本社所在地が該当している放送局は、実写ドラマ番組の放送および再放送もできます。実写ドラマ番組の数による上限は「無制限」です。ローカル番組の実写ドラマ映画番組は無制限ですが、「OYAKO」「百円の恋」および下松映画「恋」「10ミニッツ」は放送できません。

(2)実写による特撮撮影・バラエティ撮影・ドキュメンタリー撮影・写真撮影・プロモーションビデオ撮影・CM撮影を通じて、18歳未満の出演者の場合、親権者の承諾が必要の上、書類等を必ず提出する必要があります。制作側から不可能と判断された場合、出演できない場合があります。実写撮影はブラウン管に出演しますので、撮影終了後は、各自での行動に気を付ける義務を負う必要があります。

(3)山口県中部および西部「防府市・山口市・宇部市・山陽小野田市・下関市・美祢市・長門市・萩市および阿武郡」は、山口県エンタテイメント枠組構想に基づき、実写ドラマ情報・実写ドラマ映画情報の業務および実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影はできます。各地フィルムコミッション主催による映画祭イベントも実施できます。ただし、18歳未満の出演者の場合、親権者の承諾が必要の上、書類等を必ず提出する必要があります。その他、18歳以上の出演者で露出ある実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影で使用する場合、各都道府県公安委員会による「映像送信型性風俗特殊営業」の提出が必要です。この場合、18歳未満の出演者は使用できません。露出以上の性的行為による実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影は、表現規制により、18歳以上の出演者でも使用できません。実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影を通じて道路使用・武器使用・火薬使用を敢行する場合、事前に許可を申請する必要がありますので、必ず許可を申請して下さい。

(4)18歳以上の出演者で「生活保護受給対象者」は、実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影による出演およびエキストラ出演はできません。また、スタッフおよびボランティア

スタッフで「生活保護受給対象者」は、自動車使用が禁止されているため、実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影によるロケ活動はできません。それ以外の実写による特撮撮影・バラエティ撮影・プロモーションビデオ撮影・CM撮影も同様です。その場合、自動車使用が認められているスタッフおよびボランティアスタッフに依頼して交代して下さい。ホームページ運営を個人で管理している場合、期間中、ドラマ情報・ドラマ映画情報の業務および情報発信はできません。

(5)実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影による出演者のメイキングにつきまして、漫画等の髪形に設定する場合、必ず「美容師免許」が必要とされますので、必ず美容師関係の従業員を依頼して下さい。顔面等を剃る場合、「理容師免許」が必要です。「美容師免許」および「理容師免許」をお持ちでないスタッフは、メイキングの仕事はできません。

3. ツイッター等のソーシャルネットワークにおける実写写真について

(1)自身が撮影した実写写真は、ビジネスおよび行事以外、「18歳未満の出演者」はもちろん「18歳以上の出演者」でもプライバシー保護のため、むやみに実写写真を公開することをご遠慮下さい。

(2)ビジネスおよび行事で自身が撮影した実写写真を公開する必要がある場合、掲載目的の書面を作成して勤務先の上司または学校の先生の承諾を得て下さい。家庭内であれば親権者の承諾を得て下さい。

(3)「18歳未満の出演者」および「18歳以上の出演者」による実写写真を公開することは、掲載する側にも責任がありますので各自での責任が必要です。

4. コスプレ使用およびコスプレ写真について

(1)出演者によるコスプレ使用およびコスプレ写真は、一部の団体を除き、原則使用禁止とします。イベントでのコスプレ使用で主催者側が禁止とされた場合、出演者はコスプレ使用を実施してはいけません。出演者がコスプレ使用をめぐって不審者扱いされても主催者側は一切責任を負いません。コスプレ使用は、人間が漫画等のキャラクターになり切るため「実写扱い」とみなされます。

(2)出演者はコスプレ使用を通じて実写ドラマ・実写ドラマ映画撮影はできません。

(3)撮影者がコスプレ写真を撮影する場合、出演者に了解を得る必要があります。ただし、撮影されたコスプレ写真は、個人で楽しむこと以外、個人団体問わずホームページおよびブログに掲載してはいけません。また、撮影者は、無断で特撮制作・バラエティ制作・ドキュメンタリー制作・写真制作・プロモーションビデオ制作・CM制作での使用はできません。

(4)出演者は、キャラクターのコスプレ使用を通じて、著作権違反の恐れのあるコスプレ使用はできません。ディズニーキャラクターにつきまして「ディズニー著作権」に基づき、

無断での使用を禁止されておりますので、コスプレ使用はできません。

※コスプレ使用のコスプレは「コスチューム・プレイ」を語源とする和製英語です

※コスプレの英語は「cosplay」となります

山口県エンタテインメント枠組構想案を作成した主な理由は以下の通りです

(1)18 歳未満の出演者の場合、親権者の承諾が必要の上、書類等を必ず提出する必要があります。実写ドラマ制作・実写映画制作による 18 歳未満の出演者は、親権者の承諾がなければ使用できません。親権者の承諾なしに 18 歳未満の出演者による実写ドラマ制作・実写映画制作を敢行した場合、法律により罰せられる場合があります。法律違反を犯した場合、該当する各地フィルムコミッションは、今後の活動停止および組織解散による処分を受けることがあります。

(2)生活保護受給対象者は月々に給付する金額が決められており、上限以上の出費がかさむ仕事は制限を受けます。映像を実写ドラマ制作・実写映画制作する場合、役者を使用するごとに費用が高額であるため、責任者が生活保護受給対象者となりますと行政側から指導指示を受ける場合があります。行政側から指導指示を受けた場合、責任者は実写ドラマ制作・実写映画制作を直ちに辞任する必要があります。対策として、責任者は他者に映像の著作権権利を譲渡して下さい。18 歳以上の出演者で「生活保護受給対象者」による実写ドラマ撮影・実写ドラマ映画撮影による出演およびエキストラ出演は、YouTube 等の動画配信やブラウン管に映像を送られると、該当者が分かるためです。アニメ制作の場合、自分で動画を制作し、自分が声優として声を出演することができれば少額の出費で済みます。実写ドラマ制作・実写映画制作は、身体能力が必要なため、自分からは制作できません。実写による特撮撮影の場合、高額な出費がかさむ場合がありますので推奨できません。それ以外のバラエティ撮影・プロモーションビデオ撮影・CM 撮影は自動車での移動手段が多いため、撮影することは、ほとんど不可能となります。ドキュメンタリー撮影・写真撮影は、身近な日常でも自動車なしで撮影することは可能です。実写ドラマ制作・実写映画制作は、役者さんたちを現地に派遣する必要があるため、自動車での移動手段は必要です。ドラマ映画情報の場合、映画鑑賞を実施することにより安い金額ではありません。ドラマ映画情報の仕事は 1 回のみではなく月 10 回単位で映画鑑賞を実施します。映画館の大半は、海外ドラマおよび国内ドラマによる実写映画が主流です。アニメ映画は少数です。1 回につき千円単位として月 10 回であれば月一万円以上の出費となります。月 20 回であれば月二万円以上の出費となります。映画試写会に応募することで費用が削減できる方法がありますが、抽選方式となるため、最終的に現金支払いで映画鑑賞を実施することとなります。仕事を通じて収入がないままの状態になりますと行政側から指導指示を受けます。スポンサー料等の収入があれば、行政側に収入報告する義務があります。アニメ情報は、個人団体を問わずホームページ等の仕事であれば、運営することはでき

ます。ただし、趣味や私的で運営して費用がかさむ場合、行政側から指導指示を受けることがあります。アニメ情報を通じて、公的で運営し、費用で問題がなければ、行政側から指導指示を受けることはまずありません。原則、生活保護受給対象者は、パソコンを所持するだけで「ぜいたく品」とみなされ、ホームページを運営することは禁止となっています。「ドラマ情報・ドラマ映画情報・アニメ情報」の種類であれば、「ドラマ情報・ドラマ映画情報」での運営はできません。山口県エンタテインメント枠組構想案での行政側では「福祉事務所」となります。

(3)出演者を通じて露出ある実写ドラマ制作・実写映画制作を実施する場合、制作内容の判断により、事前に各都道府県公安委員会による「映像送信型性風俗特殊営業」の提出が必要になる場合があります。「甲」の場合「山口県公安委員会」となります。露出とは、性的行為や美脚を出して刺激を与える行為を指します。

(4)出演者に関して、プロモーションとの契約が必要です。プロモーションとの契約が切れた場合、該当される出演者の写真等を速やかに削除する必要があります。原則、プロモーションとの契約なしでは映像に出演することはできません。アニメであれば声優プロモーションとの契約となります。

(5)制作者と出演者のお仕事による紛争は、実写ドラマ制作・実写映画制作の場合、アニメ制作と違い、トラブル等の危険が大きいため、制作者と出演者の意見が合わなくなると制作による進捗が進まないことがあります。アニメ制作による声優であれば違う服装で問題ありませんが、実写ドラマ制作・実写映画制作による出演者はイラスト通りの服装を装着する必要があります。

(6)実写ドラマ制作・実写映画制作による道路を占有する場合、最寄りの警察署の署長に許可を申請する必要があります。許可なしに実写ドラマ制作・実写映画制作を敢行すると道路交通法違反等で映画監督とその関係者が書類送検され、作者や役者たちにも迷惑をかけます。山口県周南地域を含む山口県東部「周南市・下松市・光市・柳井市・岩国市および熊毛郡・玖珂郡・周防大島郡」は、周南市・下松市を中心に国道2号線と山陽道の大型トラックの通過による交通が激しく事故も多いため、実写ドラマ制作・実写映画制作は禁止とさせていただきます。

(7)実写ドラマ制作・実写映画制作による武器使用は、事前に警察署への届出の申請をする必要があります。届出の申請なしに武器使用を敢行すると銃刀法違反で映画監督とその関係者が書類送検されます。武器使用は一步でも間違えると凶器になります。また、見物客に向けると大変危険となり、負傷事故を起こすと損害賠償の対象となります。実写ドラマ制作・実写映画制作の制作会社が保険会社に加入しても「事前に警察署への届出」がなければ保険金は支払われません。

(8)実写ドラマ制作・実写映画制作による火薬使用は、事前に火薬類消費許可申請書に火薬類消費計画書を添えて、火薬使用を敢行する予定の消費地を管轄する都道府県知事への届出の申請をする必要があります。届出の申請なしに火薬使用を敢行

すると火薬類取締法違反で映画監督とその関係者が書類送検されます。火薬使用は大変危険です。例えば、山口県周南市北部と北側隣接都市をまたいで実写ドラマ制作・実写映画制作による火薬使用を敢行する場合、事前に火薬類消費許可申請書に火薬類消費計画書を山口県知事と島根県知事への届出の申請が必要です。理由として、山口県周南市の北側隣接都市は「島根県鹿足郡吉賀町」の「島根県」です。

【おことわり】

- ・18歳未満の出演者は「高校生」も含まれます
- ・ニュースとワイドショーは情報開示が必要ですので実写撮影はその限りではありません(ただし少年犯罪は少年法により実写撮影による情報開示はできません)
- ・県大会および全国大会出場は情報開示が必要ですので実写撮影はその限りではありません
- ・ビジネスおよび行事による撮影は企業や学校の紹介に必要なためその限りではありません(ただし私的による顔写真の公開はプライバシー問題により掲載できません)

2016年06月01日施行

2016年06月06日「及び」の表記を「および」に統一

2016年06月09日「松田優作賞」加筆